

〔禁忌〕(次の部位には使用しないこと)  
 癩癧、挫創等本剤を使用した場合に体腔に  
 しみ込むおそれのある部位

〔組成・性状〕  
 本品は定置するとき、過酸化水素(H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)2.5~  
 3.5w/v%を含む。  
 添加物として、安息香酸、アセトアニリド、  
 エタノールを含む。  
 本品は無色透明の液で、においはないか、又は  
 オゾンよりのにおいがある。

〔効能・効果、用法・用量〕

効能・効果	用法・用量
創傷・潰瘍の 殺菌・消毒	創傷・潰瘍：原液のままあるいは2 ~3倍希釈して塗布・洗浄する。
外耳・中耳の 炎症・菌炎、 咽喉頭炎、扁桃 炎などの粘 膜の炎症	耳鼓咽頭：原液のまま塗布、滴下 あるいは2~10倍(耳科の場合、時 にグリセリン、アルコールで希釈 する)希釈して洗浄・噴霧、含嗽に 用いる。
口腔粘膜の消 毒、腐腐及び根 管の清浄、消腫、 歯の清浄、口内 炎の漱口	口腔：口腔粘膜の消毒、腐腐及び 根管の清浄・消毒、歯の清浄には 原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。 口内炎の漱口には10倍希釈して洗 口の漱口。

〔使用上の注意〕  
 (1)重要な基本的注意  
 長期間又は広範囲に使用しないこと。



殺菌消毒剤

※2006年8月改訂(第3版)  
 2003年7月作成  
 貯 法：避光した気密容器に入れ、  
 30℃以下で保存  
 製造番号 ラベルに記載  
 使用期限

日本標準商品分類番号	872614
承認番号	(G1AM)894
薬価	1950年9月
販売開始	1949年1月
再評価結果	1993年4月

日本薬局方

# オキシドール

Oxydol

500mL

4 987173 083411



〔副作用〕  
 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確とな  
 る調査を実施していない。  
 ●重篤な副作用  
 空気塞栓 空気塞栓を起こすことがあるので、循環  
 動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症  
 状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、  
 適切な処置を行うこと。  
 ●その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
口腔	適用により口腔粘膜刺激

〔注〕このような症状があらわれた場合には投与を中  
 止するなど適切な処置を行うこと。

〔適用上の注意〕  
 投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと。  
 使用時  
 1)眼に入らないよう注意すること。入った場合には  
 水でよく洗い流すこと。  
 2)易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位  
 に使用する場所より低濃度とすることが望ましい。  
 3)深い創傷に使用する場合は希釈液として、注射  
 用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を  
 用いないこと。  
 (4)その他の注意  
 長期大量に投与によりマウスの十二指腸に潰瘍の  
 発生が認められたとの報告がある。

キャップ：PP  
 ボトル：PE

〈ポリ〉